



第52回円通塾

日常生活に役立つ



～おもしろ鑿学〔いがく〕講座～

前回大好評でした六角田中医院・田中院長による円通塾です！

今回のテーマは、おもしろ鑿学〔いがく〕講座。

胃はなぜ田と月なのか？脾臓はなぜ月と卑なのか？

胆嚢はなぜ月に旦なのか？などなど。

また五臓六腑という言葉がありますが、六腑目の三焦、
さらに六臓六腑という言い方もありますが、六臓目の心包とは何か？

これらがわかると病の仕組みが実によく分かり、

健康と病の予防・治療に大いに役立ちます。

特に六臓目と六腑目の心包と三焦は、これまでは謎の臓腑でしたが、
ここ数年の院長独自の研究で世界に先駆け、ほぼ謎解きができました。

その結果と素晴らしい活用法をお伝えします！

日時：平成30年3月3日（土）

午後2時30分～4時30分

場所：六角田中医院 待合室

参加費：3,000円（豊富な資料付き）

申し込み：六角健康サロン受付へ直接

またはお電話ください。

☎ 075-253-3777



★今回、がんの予防について、成程そうかと納得できる当院独自の予防法をお伝えします。

心包と三焦とは？



東洋医学の代表的な古典、『黄帝内経・靈樞・本輸篇』には
「三焦は表裏関係を為す特定の臓を持たない“孤腑”」とされ、
『難経・二十五難』には「心包は三焦と表裏を為し、
ともに“名ありて形なし”」と書かれています。

この「孤腑」とか「名ありて形なし」とか、片や表裏を為すとか
為さないとか、分からなかったのは無理ありませんね。

この辺りのややこしい謎がスカッと解けたら、
いろいろな不思議なことが分かり、
健康と病の予防・治療、さらには災難回避にも役立ちます。

ぜひぜひ、ご期待ください！